

# CASBEE®名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築環境総合性能評価システム2016 名古屋中規模建築物環境性能評価マニュアル2016 使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)エスリード名古屋市中区松原2丁目 新築工事	階数	地上14F
建設地	名古屋市中区松原2丁目1106番、1107番1、1107番2	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域、緑化地域	平均居住人員	85 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2021年1月21日
敷地面積	363 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	247 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,925 m <sup>2</sup>	確認者	



ださい

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**= BEE0.7** ★★★★★

★: S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆ 100%超:☆☆☆ 100%:☆☆☆ 80%:☆☆☆☆ 60%:30%

標準計算

①参照値	0	100%
②建築物の取組み	46	102%
③上記+②以外の	92	102%
④上記+オフサイト手法	138	102%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア= 2.5

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

音環境	3.0
温熱環境	3.0
光・視環境	3.1
空気質環境	3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

機能性	3.3
耐用性	2.9
対応性	2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.3

生物環境	1.0
まちなみ	1.0
地域性・	2.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア= 2.8

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.7

建物外皮の	3.0
自然エネ	2.0
設備システ	2.6
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

水資源	3.0
非再生材料の使用削減	3.0
汚染物質回避	3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

地球温暖化	2.8
地域環境	2.3
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
F☆☆☆の材料を用いたり採光性を高めたりして室内環境に配慮し、かつインターネット環境等のサービス性能にも配慮した計画となっている。	特になし。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
昼光を利用することによって、採光性を高めている。	Gbitクラスのネットワーク環境の整備。	特になし。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
特になし。	ノンフロン断熱材(吹付け硬質ウレタンフォームA種1)を採用。	広告物照明を行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される




### 重点項目スコア・結果シート

(仮称)エスリード名古屋市中区松原2丁目 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル;  
 ■評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策				2.7
LR1	エネルギー	2.7	0.4	/
LR3.1	地球温暖化への配慮	2.8	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				1.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	/
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045	
3. 循環型社会				2.9
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	/
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.0	0.016666667	

### 結果

1. 温暖化対策	評価点 = 2.7	
2. 自然共生	評価点 = 1.3	
3. 循環型社会	評価点 = 2.9	

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。